

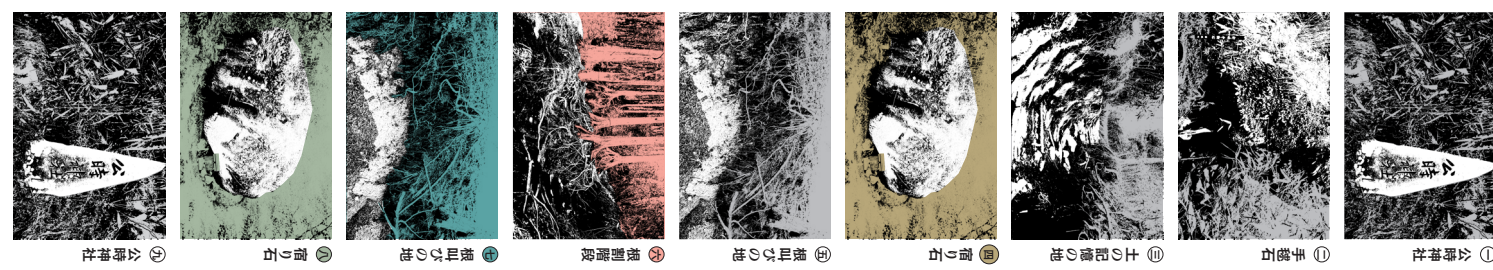
# 結山者の道

五感で感じる野遊び体験



山折り

山折り



① 公館山

② 手廻石

③ 十石の地蔵の地

④ 宿り石

⑤ 龍の地蔵

⑥ 龍の地蔵

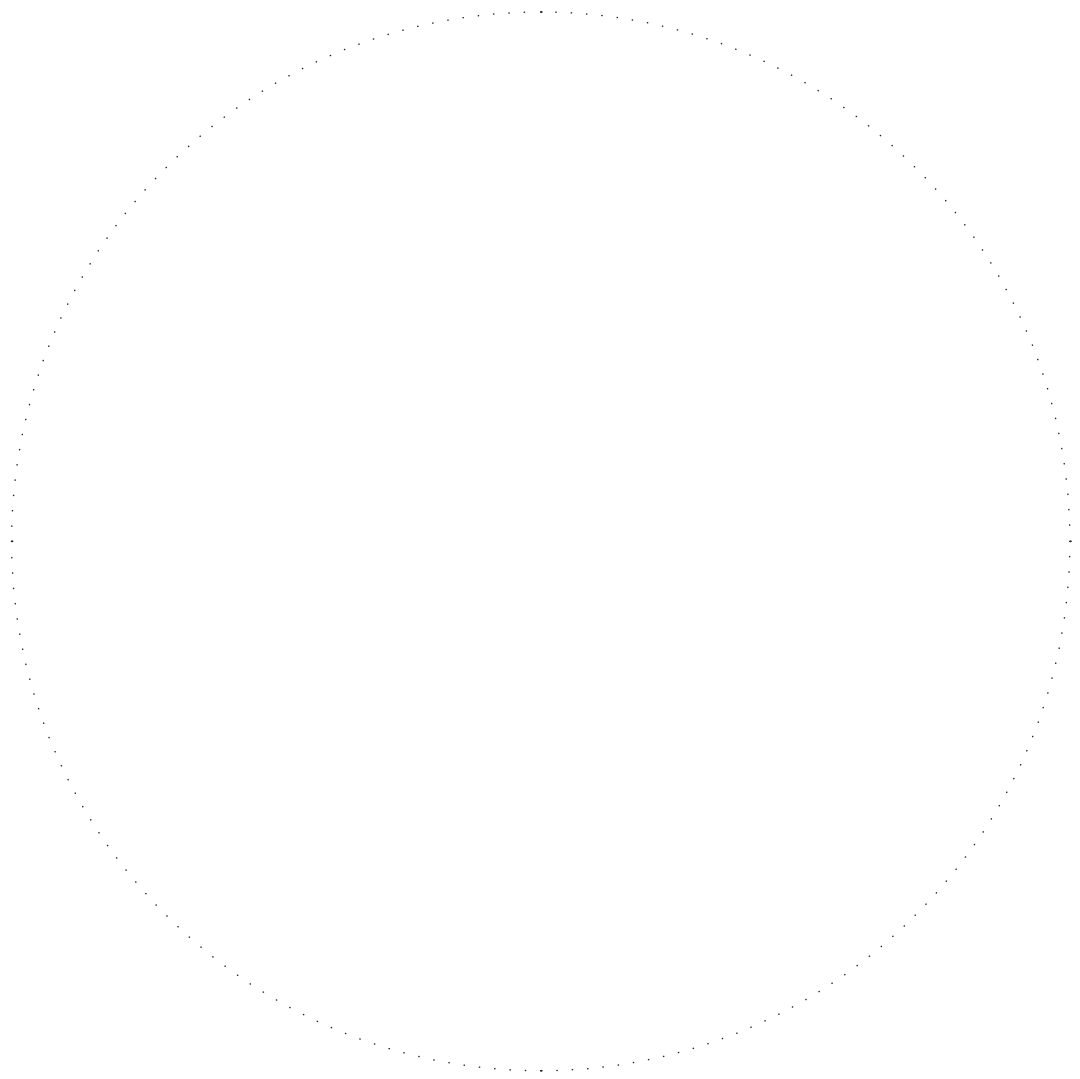
⑦ 龍の地蔵

⑧ 宿り石

⑨ 公館山



谷折り





# 結山者の道

いにしへより、  
金時山には荒ぶる  
「カナヤマノカミ」が宿っていました。

山には「結山者」と呼ばれる存在が現れ、  
山のあらゆる要素を結び合わせ

調和を保っていました。

水は土を運び、

土は植物を育み、

植物は動物を養い、

すべてが循環していたのです。

そのむかし、

この山で育った金太郎は、

熊と相撲を取り、

鹿と駆け巡り、

植物と戯れ、

様々な人間ならざる「結山者」と  
交わる術を身につけました。

彼は人間としての

「結山者」の技を編み出し、

踏み固めた道に

柔らかさを取り戻し、

水の流れを導き、

植物が育つ土を作る

知恵を育みました。

これによって

カナヤマノカミは鎮まり、  
山は豊かさを増しました。

金太郎が山を離れる際、

彼は里の人々に「結山者」の

心得を伝えました。

最初は守られていたその教えも、

時の流れとともに忘れられ、

人々は山の頂上を目指すことだけに

熱中しました。

すると、

再びカナヤマノカミの気に障りました。

土がなくなり、植物は減少し、

水は時に暴れるようになりました。

山の怒りのあらわれでした。

今、金時山は新たな「結山者」を

求めています。

山を訪れる者に

カナヤマノカミは

語りかけます。

足裏から、

風の触れ合いから、

木々の囁きから。

この呼びかけに

気づいた者よ。

単に頂上を

目指すだけでなく、

山のあらゆる

要素と結びつき、

ともに山を維持する

試練を乗り越え

「結山者の道」を

歩みはじめなさい。

## ① 公時神社

山の麓の神社。試練はここからはじまる。指示書「はじまりの地」を読む



## ② 手毬石

山のような自然を一つに結んでいる巨石。指示書「手毬石の地」を読む



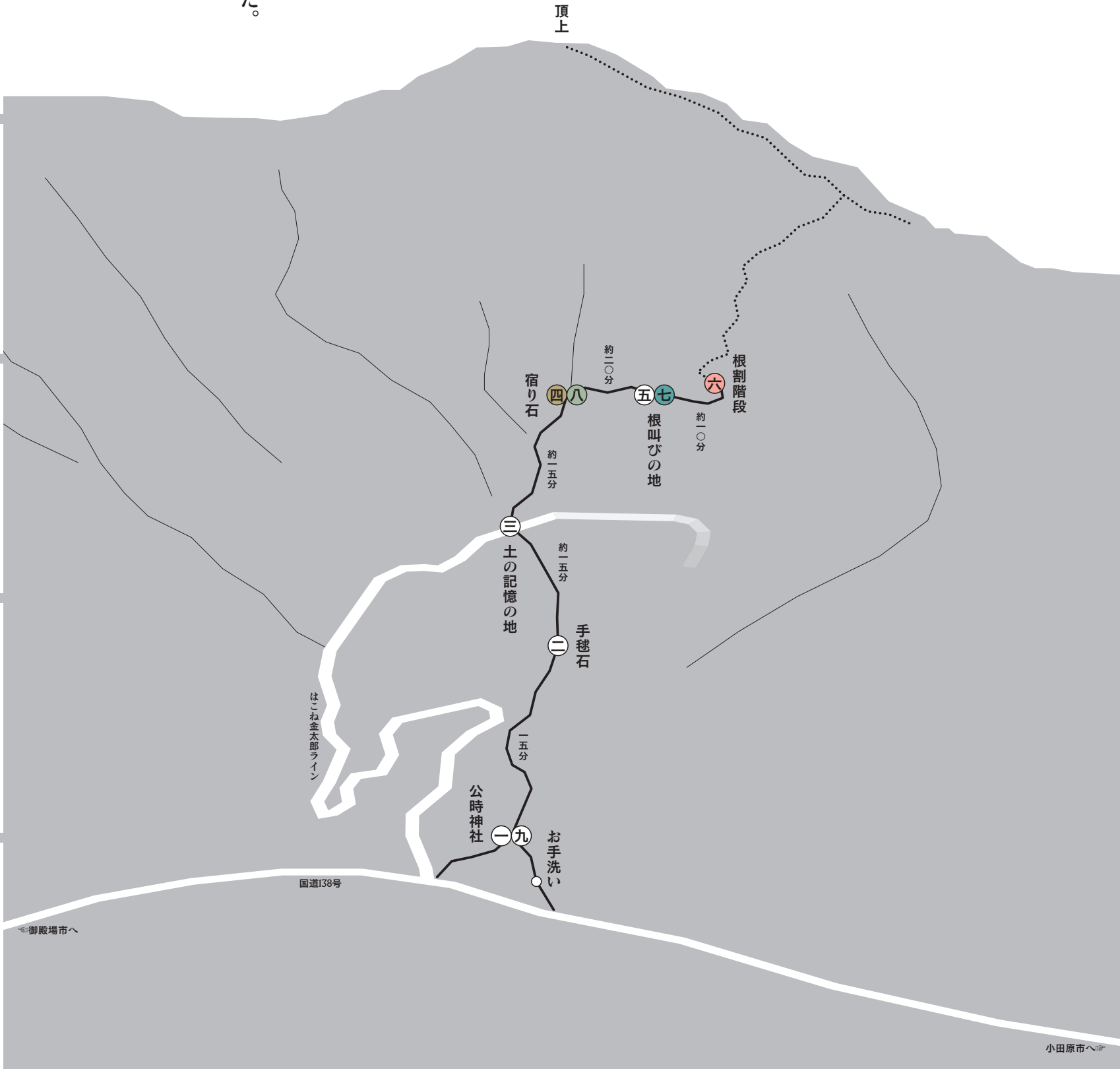
## ③ 土の記憶の地

調和が保てず、土が流出した土地。車道横断後すぐ。指示書「土の記憶の地」を読む



## ④ 宿り石

様々な伝説あふれる巨石にて、試練を行う。第一の試練書「枝葉道」を読む



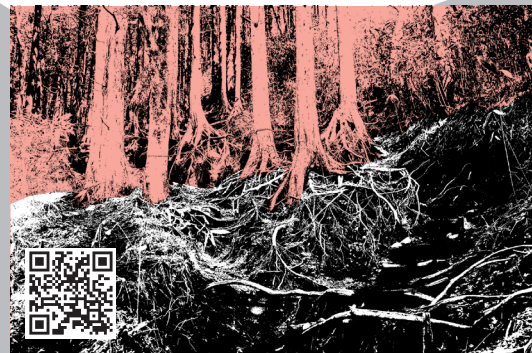
## ⑤ 根叫びの地

土がなく、木の根がむきだしになった道を探す。指示書「根叫びの地」を読む



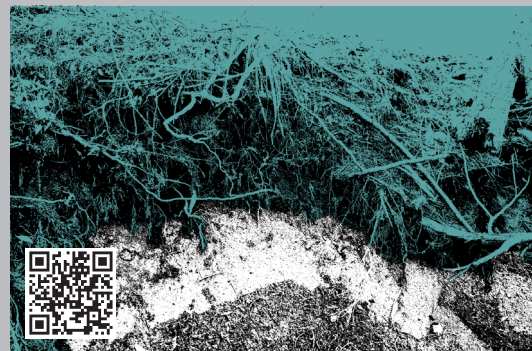
## ⑥ 根割階段

むきだしの根を越え、ひらけた階段上の地を探す。試練書「獣成り」を読む



## ⑦ 根叫びの地

植物が生えず、土がむきだしの斜面を探す。試練書「水土流」を読む



## ⑧ 宿り石

様々な伝説あふれる巨石。試練書「山語り」を読む



## ⑨ 公時神社

山の麓の神社。結びの儀で試練を終える。指示書「結の誓いの地」を読む

